

ハクチョウの越冬地として有名な田尻池をはじめ県内の池や川では、たくさんハクチョウやカマなどの姿を見かけるようになってきました

目的は冬の食料確保

た。これらの鳥は渡り鳥で、冬に向けて日本に飛んでくるので冬鳥と言われています。反対に、ツバメなどの夏に日本に飛んでくる鳥を夏鳥と言います。

冬鳥が渡ってくる一番の理由は、

冬の食料を確保するためで、雪が解けて春になると繁殖のために北に戻ります。繁殖の時期には食料が豊かになるためです。



渡り鳥について「いつ頃、どのようなコースで渡りをするのか」「何年ぐらい生きるのか」などを明らかにするため、環境省などが鳥に標識や発信器をつけたりして調査しており、県内でもねいの里の里近くの鳥類観測ステーションで行っています。

足環を付けたオオハクチョウ

(田中純)